

可搬消防ポンプ等点検・整備記録票						
名称					防火管理者	㊟
所在					立会者	㊟
点検・整備の実施内容	点検種別	機器・総合		点検・整備実施年月日	年 月 日～ 年 月 日	
	整備					
点検・整備の資格者	資格	番号		資格者の所属会社	社名	TEL
	氏名	㊟			住所	
点検・整備の対象機器	本体	製造者名				
		型式機番等				
点検項目		点検結果			措置内容	
		種別・容量等の内容	判定	不良内容		
機器点検						
設置状況等						
水源	貯水槽					
	水量		m ³			
	水状					
	給水装置					
吸管投入孔及び採水口	周囲の状況					
	吸管投入孔					
	採水口	本体				
		開閉弁				
標識						
燃機関	燃料		ℓ			
	潤滑油					
	スロットルリンク					
	ボルト、ナット等					
	ガバナ室オイル					
	蓄電池	外形				
		電解液				
		端子電圧		V		
	起動装置					
	リコイルスタータ					
動力伝達装置						
冷却装置	ラジエータ等					
	冷却ファン					
吸排気装置						
点火プラグ						

充電器	充電電圧	V						
	充電電流	A						
	自動充電器							
ポンプ	本体							
	真空ポンプ	本体						
		ストレーナー						
		潤滑剤						
	計器類							
作動								
車台装置及び搬送装置								
積載器具	装備							
	吸管及びストレーナー							
	ホース及びノズル等	外形						
		ホースの耐圧性能						
	はしご							
破壊器具その他の器具								
予備品等								
総合点検								
運転状況								
吸水性能								
放水性能	放水圧力							
	放水量							
走行性能								
備考								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合○印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際の措置した内容を記入すること。

可搬消防ポンプ等点検・整備記録票			
整備記録			
	故障状況及び故障箇所		整備内容
	エンジン部	始動困難	燃料系統の異常
点火系統の異常			
圧縮・給排気系統の異常			
運転困難		機械系統の異常	
		燃焼系統の異常	
		ガバナ系統の異常	
ポンプ部	吸水不良	ポンプ本体系統の異常	
		真空ポンプ系統の異常	
	放水不良	エンジン系統の異常	
		ポンプ本体系統の異常	
電装関係	始動不良	セルモータ系統の異常	
		制御系統の異常	
	直流電源装置不良	蓄電池系統の異常	
		充電器系統の異常	
	O/Kモニタ不良	センサ系統の異常	
		表示系統の異常	
		配線系統の異常	
結線部	配線系統の異常		
	点灯系統の異常		

可搬消防ポンプ等点検・整備記録票					
交換部品	部 品 名		交 換 理 由 等		
	整備後の性能確認運転結果	確 認 項 目		確 認 結 果	
		種別・容量等の内容	判定	備 考	
回 転 状 況					
吸 水 性 能					
放水性能		放 水 量			
		放 水 圧 力			
走 行 性 能					
備 考					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 点検結果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 6 整備記録の故障状況及び故障箇所欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 7 整備内容欄には、整備した内容を具体的に記入すること。
 - 8 交換部品欄には、交換した部品名と、交換理由を記入すること。